

がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「うれしいことば」（きょうかしよ 60～61 ページ）にとりくみます。

- ① どんなときに、どんなことばを言ってもらおううれしいですか。
（れい）のようにノートやとりくみシートに書いてみましょう。

（れい） がんばった とき	すごいね。がんばったね。
（1）がんばった とき	
（2）こまった とき	
（3）はじめて できた とき	

- ② 言ってもらってうれしいことばを文にしてみましょう。（れい）

文にするときは、

どんなときに言われたか

だれにどんなことばを
言ってもらったか

自分のきもち

のじゅんに書きます。

じょうずだね
さいとう あずさ

あやとびを、三十回つづ
けてとべました。

「じょうずだね。」
と
言ってくれました。

うれしくて、もっととべ
るようになりたいとおも
いました。

◆「かん字のひろば」（きょうかしよ 62 ページ）にとりくみます。

きょうかしよ 62 ページにあるかん字をつかって、
文をつくります。文のおわりに、まる（。）をつけ
ましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

※可能な範囲でお願いします。

- ・うれしいことばを3文程度で書きます。「文のまとまりで改行すること」と、「かぎかっこは改行すること」が基本となりますが、文の書き方については85 ページで改めて学習を行います。
- ・今回は「どんな時（緑）→誰に・どんな言葉（赤）→気持ち（青）」の順に書くことにしましたが、文がこの順になっていない場合でも、どんな時にうれしい言葉を言われたかが伝わる文章になっていれば、順番が入れ替わっても問題ありませんので、うれしい言葉をかけてあげてください。

七月〇日 かん字のひろば

・しまには、田んぼがあります。

・川をこえていくと、王さまが
すむ、おしろがあります。

・赤い夕日がきれいだな。